

シモツケコウホネ保全活動の担い手を確保するには

地域名: 栃木県日光市小代

パートナー名: 日光市市民環境部環境課

13班 コミュニティデザイン学科 山鹿親良

建築都市デザイン学科 猪瀬日向 田村祐太

社会基盤デザイン学科 高橋凜太郎 星野凌毅

1.背景

シモツケコウホネ(写真1)は、環境省のレッドブックデータで「絶滅危惧種IA類」「国内希少野生動植物」に指定されている貴重な植物である。国内の生息地はわずかしかなく、その一つが日光市小代地区となっている。また、水路の中に生息する沈水植物であるため、環境の変化に弱く、水路内の外来種の除去・水路周りの雑草の除去などの環境を維持する取り組みが必要であり、これらの活動は、平成17年から主に地域住民で構成される「シモツケコウホネと里を守る会」の会員の手によって行われている。(写真2)



写真1 シモツケコウホネ



写真2 保全活動の様子

2.目的

現在「シモツケコウホネと里を守る会」は会員の減少や高齢化という課題を抱えており、活動をこれまで通りに行っていくことが困難になっていくことが考えられる。それは水路に咲くシモツケコウホネの保全に大きく関わる問題である。そこで、現在の活動の改善点や、新たな活動の担い手の確保の可能性等を探るために、守る会の方との意見交換や現地での調査を行い、そこから得た情報を基に、守る会の活動が持続可能なものとなるような提案を行っていくことを目的とする。

3.方法

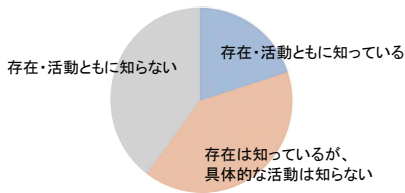
シモツケコウホネの開花時期に自生地を訪れた方々を対象として調査を行った。調査は以下の2つの方法において行い、訪問者の年代や居住地、シモツケコウホネと里を守る会の認知度等についての質問を行った。また、調査の期間はシモツケコウホネの開花時期であり、人が訪れやすいと思われる8月から9月までとした。

調査方法	
アンケート調査	ポスターに掲載したQRからのアクセス
聞き取り調査	現地に訪れた方々に対して聞き取り

4.分析結果

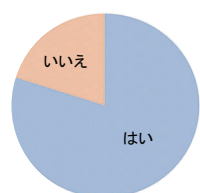
○調査結果

Q.シモツケコウホネと里を守る会の活動を知っていますか



保全活動に関する認知度が低いことが伺える

Q.保全活動を支援したいと思いますか



シモツケコウホネを大切に守っていきたい保全意欲が伺える

○訪問者の声

シモツケコウホネや保全活動について、詳しく知りたい

時間や体力的に参加が難しい
自生地までの距離が遠い

シモツケコウホネや保全活動に関する情報を求める声がある一方で、自生地における現状の保全活動の参加が難しい

**シモツケコウホネの魅力や保全活動の情報を発信すること
遠方の方々が保全活動に関われる仕組みが必要である**

5.提案

以上の分析結果から、①シモツケコウホネの魅力や保全活動の情報を発信し、②遠方からの来訪者が保全活動に関わってもらうために以下のような提案を挙げる。

① 守る会やシモツケコウホネの情報などを載せたWebサイトを作成し、活動の状況や開花の状況などを閲覧できるようにする。(Webサイトの運営は守る会が厳しいと判断した場合、日光市役所の方で運営をしていただくことを検討する)

さらに、自生地周辺にWebサイトのQRコードを掲載したポストカードを設置することで、シモツケコウホネを見に訪れた人がWebサイトを閲覧し、活動に興味を持ってもらう仕組みを作る。

② 遠方からの来訪者が多いことから、保全活動に直接関わるだけでなく、間接的に支援できる方法が必要である。

支援してもらうものとして、活動資金や広報などで用いるイラスト、自生地の整備するためなどの用具などと言ったものが考えられる。支援に対するリターンの案として、現地で撮ったシモツケコウホネの写真やポストカードを送る、またライブカメラを設置し現地の様子を見られるようにすることなどが考えられる。



図1 ポストカード(表)

シモツケコウホネとは…
栃木県にのみ自生しており、絶滅危惧種に指定されている貴重な植物です。
夏には黄色くて小さな花を咲かせます。

シモツケコウホネと里を守る会
シモツケコウホネの保全のために草刈りや外来種の除去を行っています。

代表: 柴田 由子
連絡先: 0288-27-0923



活動に興味を持った方はこちらから

図2 ポストカード(裏)

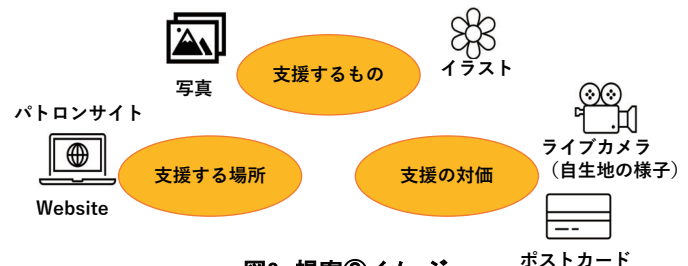


図3 提案②イメージ